

林業公社の経営安定化に対する支援について

【 農林水産省・林野庁 】

提案の内容

地球温暖化をはじめ、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、長伐期施業への円滑な転換に向けた取組みを支援すること。

- ・ 長期的に適正な森林管理を行うための財源措置
- ・ 長伐期施業契約に対応した農林漁業金融公庫の融資期間の延長
- ・ 森林整備活性化資金の充当率引き上げと融資対象事業の拡大（森づくり交付金・管理経費の融資対象化）

【 現状と課題 】

地球温暖化対策に向けた森林の適切な整備・保全の推進

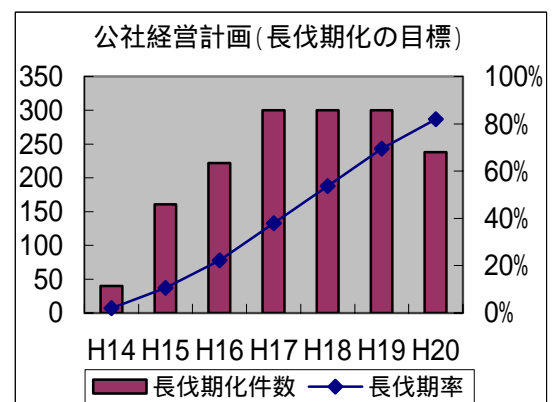
- ・ 国では「地球温暖化防止森林吸収源10ヶ年対策」を策定し、長伐期施業などの長期育成循環施業導入を推進している。
- ・ 林業公社は、長期間にわたる森林管理の重要な担い手として期待されている。

伐期の長期化による管理経費の増大

- ・ 林業公社でも育成林の伐期長期化を進めているが、管理経費の増大に苦慮している。

木材価格の低落による経営環境の悪化

- ・ 加えて、林業公社の分収林事業収支は木材価格に大きく左右され、現在の木材価格を元に試算した長期収支予測では、最終的に235億円の収入不足額の発生が予測されている。



【 本県の取組状況・方針 】

長伐期施業の推進

- ・ 森林吸収源10ヶ年対策に基づき、本県においても森林の適切な整備・保全と長伐期施業への転換を推進している。

林業公社の経営改善策を積極的に支援

- ・ 「林業公社経営計画(H16～H25)」に基づき、育成林の長伐期施業を担う林業公社に対して経営改善策（長伐期転換補助金・貸付金の無利子化など）の支援を行っている。



【 提案要望の効果 】

林業公社の経営安定化により、新たな造林・保全事業の拡大につながる。
適正な森林の保全・管理が図られ、CO2吸収源確保による地球温暖化対策が推進される。